

ひな祭りのゆらい

2020年も2か月が過ぎようとしています。今月のリビングイン宮崎では3月3日の「ひな祭り」（この時期には桃の花が咲くことから「桃の節句」とも言われます。）についてご紹介します。現在では「ひな祭り」は女の子のお祭りとして祝われます。しかし、これは五穀豊穰、無病息災、子孫繁栄などを祈り、神様へお供え物をしたり、邪気を祓ったりする「上巳（じょうし）節句」と、深い結びつきがあります。



【上巳（じょうし）の節句とひいな遊び】

古代中国では旧暦3月3日に、川辺で厄祓い（やくばらい）や禊（みそぎ/体を清めること）を行う日とされていました。その風習が7～9世紀ごろに日本に伝えられ、平安時代には、「上巳の節会（じょうしのせちえ）」と呼ばれる宴会が開かれるようになりました。「上巳の節会」では、人形（ひとがた・紙や木、土などで人間の形を作ったもの）を作って自分の代わりに穢（けが）れを川や海に流すようになりました。その後、貴族階級の子供たちの間で「ひいな遊び」が流行ってきました。今で言うおままごとのようなものです。「ひいな」とは「ちいさくてかわいい」という意味があります。その後、この「上巳の節会」と「ひいな遊び」のひな人形が長い時間をかけて重なり合い、「ひな祭り」となりました。江戸時代の初期には、幕府の大奥（おおおく・江戸城で将軍家の子女や女中が住んでいたところ）でも「ひな祭り」を行うようになりました。さらに、江戸時代の中期には女の赤ちゃんが生まれたことを祝う風習として「ひな祭り」が盛んになりました。もともとは無病息災を願う老若男女を問わない風習が、国を越え長い時を経て女の子の誕生や健やかな成長を願うお祭りへと変化していったのです。

【ひな祭り・桃の節句】

現代では、2月に入ると各家庭で「ひな人形」や桃の花を飾り、3月3日にはちらし寿司や蛤（はまぐり）のお吸い物を食べてお祝いをすることも多いです。ひな人形には豪華な段飾（だんかざ）りのものから陶器や土鈴の素朴なおひな様まで、種類や材料もさまざまです。宮崎県内でも、ひな人形展が開催されています。いくつかご紹介しますので、機会があればお寄りください。



- 「ひな人形展」 2020年2月15日（土）～3月8日（日）
都城市 都城島津邸 TEL:0986-23-2116
- 「綾雛山（あやひなやま）まつり」 2020年2月22日（土）～3月3日（火）
綾町中央通り商店街 [TEL:0985-77-0017](tel:0985-77-0017)
- 「カリコポーズのひなまつり」 2020年2月1日（土）～3月31日（火）

児湯郡西米良村内各所 TEL：0983-36-1111

- 「吉松邸（よしまつてい）ひなまつり」 2020年2月5日（水）～3月8日（日）
串間市 旧吉松邸 TEL：0987-72-6511

このコーナーへのご質問、ご意見、ご要望は：（公財）宮崎県国際交流協会

[TEL:0985-32-8457](tel:0985-32-8457) FAX:0985-32-8512 E-mail:miyainfo@mif.jp